

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。

さいたま市立

常盤中学校



本校は、「心豊かな人創り 自ら学ぶ人創り 活力あふれる人創り」を学校教育目標とし、生徒が主体的に将来を考え、未来を切り拓く力(TOKIWA PRIDE)の育成を図っています。そのためにもESD(持続可能な開発のための教育)を推進することにより、10年先、20年先を見据えた自身の生き方及び他者との共存について意識した生活が行える生活の在り方について、研究を進めております。



■所在地：さいたま市浦和区針ヶ谷4-1-9

■電話：048-831-3189

■メールアドレス：tokiwa-j@saitama-city.ed.jp

■交通：JR京浜東北線北浦和駅、与野駅より徒歩10分

01 探求ポイントを自分で設定する

インターネットでは得られない情報を掴み取る力を育成する



本校では、各学年のテーマに沿って「探求ポイント」を個人個人で設定してその疑問に対する答えを自分で探し出す、「探究活動」を全学年で行っています。探求ポイントは調べたらすぐ答えが出るものではなく、校外活動で現地を訪れなければ分からないものや自分なりの考察を入れたものなど、学年が上がるにつれて深みを増していきます。「なぜ」「どうして」に「～だったら」「例えば～」を加えることで、世界で起こっている事象に自分なりの考えをもって対峙し、当事者意識を持って解決しようという意識を育てています。発表もパワーポイントを使ったり、パネルディスカッションスタイルを使ったり、ポスターを作ったりと様々な形をとることで、発信の仕方も様々であることを同時に学んでいます。



優秀な考察をもった発表は、学年全体の前で紹介されました。



02 国際交流

他国の方に自国を紹介してもらい、日本をさらに知る



中国の日本語教師の方を招いて中国の学校生活や教育制度について紹介していただいたり、様々な国の方を招いて音楽やお祭り、衣装や言語など様々な分野について話をさせていただく機会を、毎年定期的に設けています。

他国についての知識を得るだけではなく、日本について紹介する機会を得ることで、日本についての知識も深まります。他国の文化と比較することで、相違点と相似点を見出し、これからの世界で交流する際に役立つ考え方を構築することができるようになっています。



8か国の方々が来校し、国紹介をしてくれました。



中国の日本語教師の方々が来校し、交流しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立
木崎中学校**



学校教育目標「よく考えて行動する生徒 思いやりのある生徒 はつらつとした生徒」

■所在地：さいたま市浦和区瀬ヶ崎 2-17-1 ■電話：048-886-4302
■FAX：048-811-1337 ■交通：JR 京浜東北線北浦和駅徒歩 25 分

12 「つくる責任 つかう責任」



特別支援学級の中学生在が、ペットボトルキャップを再利用し、磁石の性質を生かした「じしゃくの帽子」を制作します。生徒一人一人が磁石のくっつき方を確かめながら、考えて工夫し、楽しんで取り組みます。身近な材料を大切に使うことで、SDGs12 番「つくる責任 つかう責任」への理解を深めます。



02 SDGs の大切さを学ぼう！



本校では、2年生の総合の時間に SDGs の全てのテーマについて学習しています。昨年度に引き続き、SDGs カルタの作成や調べ学習を通して、何を意識して生活していかなければならないのか考えを深めながら、17 の項目について興味や関心を深めています。



03 未来の私たちの生活のために！



本校では、廊下に SDGs に関するコーナーをつくり、掲示物を定期的に更新しています。また、前年度に引き続き、アイシティ eco プロジェクトに参加し、目標 12 の「つくる責任つかう責任」を考えるべく、使い捨てコンタクトレンズの空ケースのリサイクル活動に取り組んでいます。さらには、「新聞 20 枚運動」や、「制服リサイクルバザー」に取り組んでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
本太中学校校



■所在地：さいたま市浦和区領家 1-4-15

■電話：048-886-4305

■FAX：048-811-1339

■交通：J R 京浜東北線北浦和駅徒歩 15 分

01 未来へよりよく生きるための創造性を育む



さいたま市立本太中学校では、主に総合的な学習の時間の
中でSDGs 教育に力を入れて、実践しています。

今年度も、「未来へよりよく生きるための創造性を育む」と
いう目標のもと、3年間を見通した年間指導計画を作成しま
した。主に1年生においてSDGsの基本的知識を学習し、「地球の課題」につ
いて考えを深めます。さらに得た知識を生かし、地球を救うために自分たちには何
ができるのかを考える活動を行っていきます。SDGsの17の項目を達成する
ための、商品開発やアイデアを提示し、より「自分ごと」としてと捉えていく
ことが目的です。2年生では1年生で学んだことを生かしながら自分たちの生活
を見直す学習を行います。そして、3年生では自分たちが将来生きていく未来の
ために、今の自分たちには何ができるのかということ地域に発信していく活動
を行います。「問題解決学習」と「未来創造学習」を軸に、ICTを活用した授業実
践を行っていく予定です。生徒が未来をよりよく生きるために、今できることを
考え、発信できるよう学校全体で取り組んでいきます。SDGsの知識や視点が
軸となり、自分たちの将来や生活をよりよいものに
してための工夫を考える時間とし、学校の中だけ
に留まらない学びや活動を実践していきます。

02 授業実践



各教科や道徳においても、
SDGsの視点をを用いて考え
を広げています。

各教科とのつながりや、既
習事項を踏まえて学習を行

い、自分たちにとって、身近で自分事として考
えられるような授業を実践しています。

各教科や道徳においても、SDGsの視点をを用
いて考えを広げています。各教科とのつながり
や、既習事項を踏まえて学習を行い、自分たち
にとって、身近で自分事として考えられるよう
な授業を実践しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



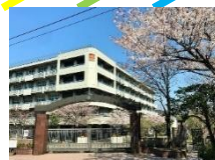
さいたま市立大原中学校

校訓『歴史を拓く』

くよき歴史と伝統を継承し、自らの力で新しい歴史を拓く

学校教育目標 Brand new Smile!

〇はつらつとした生徒 〇地域に輝く学校



■所在地：さいたま市浦和区大原 3-1-1

■電話：048-831-5397

■FAX：048-835-1357

■交通：JR 京浜東北線さいたま新都心・与野駅東口徒歩 20 分

01 「学習者主体の授業」への授業改善

「新しい価値観」（0→1）を創造する力の育成、ICT の活用の推進



本校は、予測困難な時代を迎える子どもたちに必要な3つのG（「自分を伸ばす力（Growth）」・「多様性を受け入れ協働する力（Global）」・「やり抜く力（Grit）」）を育み、主体的に進路選択することのできる生徒の育成を目指しています。効率的な双方向のコミュニケーションツールとしてICTの活用や、プレゼンテーションの力を伸ばす方策の研究など、お互いの授業を参観して教職員が一丸となって授業改善に取り組んでいます。授業の中で生徒一人ひとりがタブレット端末を活用して、調べる・交流する・まとめる・発表する場面で役立てています。その上で、自らの「なりたい自分」像を創り上げることができる教育活動を推進しています。



02 主体的に未来を創造していく生徒の取組の推進

これからを主体的に考え、議論することで「未来を創造していく」教育の取組



本校は、生徒自らが集団や社会の形成者として主体的に社会参画する力を育むことを目標にしています。課題解決に向けて物事を多面的・多角的に考察し、協働的に追究することで、合意形成する経験を積むことができます。生徒会活動や学校行事、部活動などの様々な場面で生徒が自発的に考え、議論し、課題解決に向けた行動に繋がっていきます。代表生徒による大原中学校未来創造プロジェクトで、生徒一人ひとりの学校参画意識を醸成して、制服や校則等検討委員会や地域交流委員会を発足し、生徒たちによる持続可能な学校創りを推進しています。



03 開かれた学校づくりの推進

地域・保護者を行うボランティア活動の推進



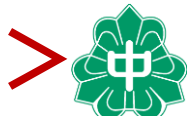
本校は、見沼田んぼの西縁に位置し、自然豊かな環境です。すぐ近くを走る首都高の高架下には、ビオトープが整備されており、自然再生プロジェクト『ハンノキ・プロジェクト』に緑化委員が参加をしています。また、足立神社の落ち葉掃きボランティア、年2回の除草活動にはPTA・保護者の方々や部活動単位で多くの生徒が参加をしています。そして、地域のスポーツ施設や障がい者交流施設とも連携を取った活動をしています。忘れな草プロジェクトとして、学区内の小学校と協力し、震災を風化させないために、ワスレナグサの苗のチャリティ配布や募金活動に協力しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立
浦和中学校



本校は、さいたま市立浦和高等学校を母体校として平成 19 年 4 月に開校した併設型中高一貫校です。全校生徒 240 名が高校生とともにのびのびと学校生活を送っています。

■所在地：さいたま市浦和区元町 1-28-17
■電話：048-886-8008 ■FAX：048-886-8555
■HP：www.m-urawa.ed.jp
■交通：JR 京浜東北線北浦和駅東口徒歩 12 分



01 併設型中高一貫校の特色ある教育活動



学校教育目標である「高い知性と豊かな感性・表現力を備えた国際社会に貢献できる生徒の育成」の実現に向けて中高一貫校として取り組んでいます。

SDG's 17 全ての開発目標については、授業での活用はもとより、生徒自らの意識に基づく主体的な活動により展開しています。

○中高合同行事（文化祭・体育祭等） ○模擬国連への参加

○夏期講習 ○中高合同教職員研修会 ○浦和中学・高等学校コミュニティ・スクール



02 高い知性と豊かな感性・表現力を備えた生徒の育成



「知性」「創造」「活力」をキーワードに、高い志をもって輝き続ける生徒の育成に向けて、特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開しています。

○生成 AI を活用した学習や ICT 教育の充実

○高校教員による「つなぎ学習」による質の高い授業



03 国際社会に貢献できる生徒の育成



1 年次から英語ネイティブ教員が授業を担当する英語アウトプット、高校英語科教諭による英文法＋異文化紹介を兼ねた英語インプットなど、外国語教育を柱とした国際教育に積極的に取り組み、グローバル化に対応できる生徒を育成しています。

○海外フィールドワーク（3 年次オーストラリア 7 日間）

○Summer English Seminar（全学年）

中学校 3 年間の集大成として、オーストラリア滞在中は、現地校の高校生やホームステイ先の家族等と交流し、現地の文化を学ぶとともに、日本文化を現地の方に伝える活動

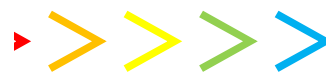


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立
いろどり学園小学部・中学部**



【学校教育目標】

- ちがいを認め合い、自分もみんなも大切にする子ども
- 自分の得意や強みを見つけながら、挑戦する子ども
- 社会とつながり、心身ともに健康な子ども

【校訓】

「好きが芽を出し、得意が花を咲かせる。みんなで咲かせよう、いろどりのある花。」



■所在地(本校)：さいたま市浦和区岸町6-13-15 さいたま市立教育研究所内
■電話：048-711-5377 ■FAX：
■交通：JR 浦和駅 西口より徒歩10分

01 「誰一人取り残されない教育」の実現と多様な学びの創造



本校は、児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成する「学びの多様化学校」です。児童生徒一人ひとりの個性を尊重し、それぞれが自分らしい「いろどり」を発揮できる場を目指します。

○未来工房(自分らしく学べる教科)：音楽・図工・体育・家庭科を複合した「SMaRT タイム」や、3D プリンター・ドローン等の先端技術を活用する「いろどり LAB」を通じ、主体的・探究的な学びを展開します。

○いつでもどこでもアクセス：市内6か所のキャンパスや自宅からのオンライン学習を選択でき、個々の状況に合わせた最適な学びを保障します

02 「心の健康」を育む居場所づくりと専門職によるサポート



心身ともに健康で自立した生活を送るための基盤づくりに重点を置いています。

○HEART タイム(こころの時間)：心理教育と福祉教育を融合し、「生きる」ことやメンタルヘルス、自己肯定感について学ぶ時間を設けています。

○多職種連携による支援：教職員に加え、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)、精神保健福祉士、さわやか相談員などの専門職がチームとなり、児童生徒や保護者の悩みに寄り添います。

○メタバースの活用：対面での面談が難しい場合でも、2D メタバースを活用した音声相談やチャットを通じて、安心してコミュニケーションが取れる環境を整えています。